



# かながわ湘南西 障福ナビだより



令和4年11月30日 第122号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

## 湘南西部圏域 相談支援体制充実強化事業 事例検討会 開催

神奈川県では、令和元年から3年度にかけて、相談支援体制充実強化事業を実施しました。これは、支援に行き詰まりを感じている相談支援専門員の方々から事例をあげていただき、専門機関から助言者を招聘して事例検討会を開催するもので、そこには市町行政、基幹相談支援センター等にも参画いただいて、事例検討会開催後の地域でのバックアップ体制の確立も併せて目指すものでした。令和2年度末には、開催した事例検討会で扱った事例を集めた「支援困難事例に関する対応事例集」を発行しています（令和3年3月に市町行政を通じて相談支援事業所へ冊子を配布済み、神奈川県ホームページからのダウンロードが可能）。そこには、14人の相談支援専門員が登場しますが、事例検討会で目の前の事柄が整理されて新たな意味を持ち、また、自身が支援を受けることで充電され、改めて事例に向き合うその姿が想像できるものでした。令和3年度末にこの事業は終了しましたが、湘南西部圏域では、地域から継続の要望をいただいたことから、令和4年度も圏域事業内で実施することとし、令和4年11月21日（月）に事例検討会を開催しました。助言者には、これまで何度かご協力いただいていた、神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部講師 岸川学氏をお迎えしています。事例を提供して下さった相談支援専門員さんをはじめとする支援者の方々は、①ご本人の診断が明確には出ていないこと、②同居のご家族は高齢で、時に暴力を受けることもあり疲弊しきっているが、ご本人が今の生活の継続を望んでいること、③うまくフィットする日中・夜間の居場所が見つからないことなど、多くの悩みを抱えていました。助言者からは、これまで長い間関わってきた支援者の努力をねぎらった上で、数々のエピソードを根拠に、想定される障害の状態像を説明いただきました。そしてそれを基に、“見通しをつけて安心できる環境を作る”、“わかりやすい伝え

方の工夫をする”など、参加者とのやり取りを通じて具体的内容に踏み込んで、ご本人、ご家族支援のポイントを整理していただきました。地域での居場所・つながりづくりでは、ご本人の好きな音楽のジャンルを活かした、地域資源としてのエアロビックスの活用の示唆もいただきました。今後に向けては、どうしても目の前の課題の解決に囚われてしまいがちですが、ご本人・ご家族、そして支援者も、今よりも少しでも幸せになることを目指し、歩を進めていくことが大切であると教えていただきました。



## 日本相談支援専門員協会 関東甲信越ブロック研修 ～誰一人残さない防災に向けた取り組み～ 参加報告

当圏域では、ここ数年の大雨被害を受けて防災への関心が高まっており、9月には二宮町・大磯町障害者自立支援協議会部会において、防災に特化した話し合いが持たれるなど、各地域で様々な動きが見られています。

標記研修会は、同志社大学社会学部教授 立木茂雄氏を講師に、令和4年11月7日（月）に藤沢市で開催され、県内外から集まった相談支援専門員が研鑽を深めました。研修では、防災と福祉の考え方や、災害による被害が障害のある方と年齢の高い方に



集中していることの根本原因など、科学的根拠に基づき、実態を丁寧に解説していただきました。その被害をなくすための方策としては、災害時に平時の支援が行き届かなくなることも想定し、当事者の方々の防災リテラシー（災害についての情報を適切に処理する能力）を高めることが必須で、それによって、よりの確な判断を、より早く行い、より早く行動に移せるようになることを目指すというものでした。平成28年からの別府市での実践（別府モデル）では、相談支援専門員（またはケアマネジャー）が平時からツールを活用して、当事者力と地域力をアセスメントし、地域に出向いて災害時ケアプラン調整会議を開催し、個別避難計画の作成につなげていきました。この別府モデルの特徴の一つは、個別避難計画の作成に相談支援専門員が深く関与し、地域と作り上げている点にあります。令和3年の災害対策基本法の改正では、個別避難計画の作成が、市町村の努力義務とされました。また、この別府モデルの普及を念頭に、個別避難計画の作成料が支給される仕組みもできています。

個別避難計画の作成に求められるスキルはサービス等利用計画作成時のものと同じであることから、講師からは、相談支援専門員が個別避難計画の作成を本来業務と捉え直して力を発揮して欲しい、とエールをいただきました。湘南西部圏域では、12月に開催する圏域相談支援ネットワーク会議において、防災に向けた取り組みについて意見・情報交換を行う予定です。

## 令和4年度第2回精神科医療機関等連絡会 開催報告

令和4年11月14日（月）に、主催：平塚保健福祉事務所秦野センター、共催：秦野市相談支援事業所等連絡会、伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会相談支援部会、湘南西部圏域地域生活ナビゲーションセンターで開催しました。本紙第119号（5/31発行）記事でご紹介した、「秦野市・伊勢原市にも包括に関する意見・情報交換会」が発端となり、両市の相談支援事業所とグループホームも参加して、精神科医療機関からの退院支援と地域生活支援について、意見・情報交換を行いました。来年度以降も継続開催の見込みです。

【あとがき】12月1日に、湘南西部圏域で初めて、医療的ケアが必要な方たちもご利用できるグループホーム、「ユミト」が平塚市内に誕生します。特定非営利活動法人 障害児・者・家族サポート事業所スプラウトさんは、当事者の方々のニーズを受け止め、平成30年に横浜市内のグループホーム見学会を開催し、準備を進めて来られました。本紙では、次号（第123号1月31日発行）において記事を掲載する予定です。